

1.はじめに

10月に入り、だんだんと寒くなってきた。キャンパス内の木々はすっかりと秋色に移り変わり、とてもきれいではあるが、ネックウォーマーを付けていても外は出歩きたくないため、部屋から眺めるだけである。最もきれいだった部屋からの風景を図1に示す。10月は学内・学外ともにイベントが多く開催されていたため、今回の報告書では、主に参加したイベントについて報告する。



図1. 部屋の窓から

2. 勉強面

10月の中旬はちょうど秋学期の中間に当たるため、多くの学生が忙しそうに校内を行き交っていた。今回は、現在受けている授業の近況を報告する。

2.1 Advanced Writing & Reading

Advanced Writing & Reading のクラスでは、様々な文章を読んで概要を書く練習をしたり、引用を用いた文章の書き方を学んだりしている。現在は添削を受けながら、引用を用いた文章の作成を行っている。

2.2 Advanced Speaking & Listening

Advanced Speaking & Listening では、Ted Talk を見て、内容をきちんと把握する練習をしたり、1分間、2分間スピーチを通して、完結に話す練習をしたりしている。また、Linking といって、単語と単語をつなげたり、Reduced という省略したりした話し方を学ぶことで、より Native English Speakers に近い発音ができるような練習をしている。

2.3 Advanced Language Analysis & Accuracy

Advanced Language Analysis & Accuracy では、Adverb clauses の単元を終えて、Adjective clauses の単元に入った。コンマが必要な文と必要でない文の区別が少し苦手なので、たくさん練習を積まなければならない。

2.4 Academic English Orientation

このクラスは、祝日が重なったためほとんど授業は無かったが、学期末にある Video Project の材料を集めるために、インタビューを行った。

2.5 Manufacturing Processes

Manufacturing Processes もまた祝日が重なったため、今月は2回しか授業を受けていない。月初めにテストを受けて、月末の授業では、溶接に関する講義を受けた。溶接は、夢考房の講習で習っただけなので、詳しい部分を理解するのが大変だった。

3. 生活面

3.1 Ruckus

10月26日に開催されたロボットの大会を観に行ってきた。FIRST Robotics Competition は、高校生たちがルールに基づいたロボットをつくり、競い合う大会である。今回観戦した Ruckus は、オフシーズンの FIRST Robotics Competition にあたり、ハロウィーンをテーマにした大会である。私がこの大会に足を運んだのは観戦するためだけだったが、私が所属している RIT FIRST Robotics というクラブは、毎年ボランティアとして大会の運営をサポートしている。私はボランティアとしては、クラブに入ったばかりで戦力外だったため、先輩にルールを教えてもらいながら大会を楽しんだ。



図2. 試合会場の様子



図3. ピットの様子

今大会は、3台のロボットが協力してタスクを行い、より多くの点数をとったチームが勝利するというものだった。3台のロボットのうち2台がオフenseロボットで、タスクをやりきることで点数を稼ぐ役割がある。残り1台のロボットはディフェンスロボットといい、オフenseロボットの妨害を行うことで、点数を入れさせない役割がある。ただし、接触できる時間は決められているため、試合時間いっぱい妨害はできない。

アジアで開催されている、Web サイトでのルール説明の仕方が、アジアで開催されている ABU ロボコンと少し似ていたが、大きく異なっていたことは、妨害が可能なことと、3台のロボットは、1チームから出されるのではなく、1チームが1台のロボットを作り、3チームが協力して戦うということだ。チーム同士の相性次第で、どんなに性能の良いロボットができたとしても、勝てるか分からないという展開に胸がおどった。また、日本で開催されている NHK ロボコンの大会会場は、ピット会場と試合会場が別々の空間に設けられており、ピットへの一般客の立ち入りは禁止されており、ライブビューイングでしかピット内の様子は見るることができない。一方、Ruckus の会場は、ピット会場と試合会場が同じ空間に存在しており、一般客がピットに入りロボットを間近で観ることができるようになっていた。たくさんのアイデアが詰まったロボットを近くで見ることができて、とても幸せな時間だった。

3.2 Pumpkin carving

10月30日に開催された English Language Center (ELC)主催のイベントに参加した。何人かで協力してジャック・オー・ランタンを作った。私は International Conversation Partner (ICP)とサウジアラビアの学生たちと一緒に作業を行った。初めてジャック・オー・ランタン作りをするので、前日からとても楽しみにしていたが、実際とても楽しかった。中身をくり抜く作業が1番大変だと思っていたが、以外と中身が無かったため、すぐに顔を掘ることができた。最後に何個かのカボチャを並べ写真を撮ったが、どのカボチャもかわいく仕上がっていた。



図4. 完成したカボチャたち

4. おわりに

会話の最中に適当な単語が思い浮かばず、うまく伝えられないことがある。アメリカに来た最初の頃は、会話を途切れさせまいと、すぐに単語を調べがちだった。しかし、今はなるべく相手に単語が思いつかないことを話し、その単語を教えてもらえるように、分かる単語で説明してみたり、ジェスチャーを使ってみたりして、なんとか辞書に頼らないように努めている。もう少し早く取り組み始められていけばと思うことはあるが、今できることをしっかりと行い、確実に英語が定着するように頑張るしか無いと思う。最後に、今月は週に1回のペースでジムに行くことができた。

以上で10月分の月例報告を終了する。